

産業厚生常任委員会 資料

令和5年8月18日

上下水道部 管理課

目 次

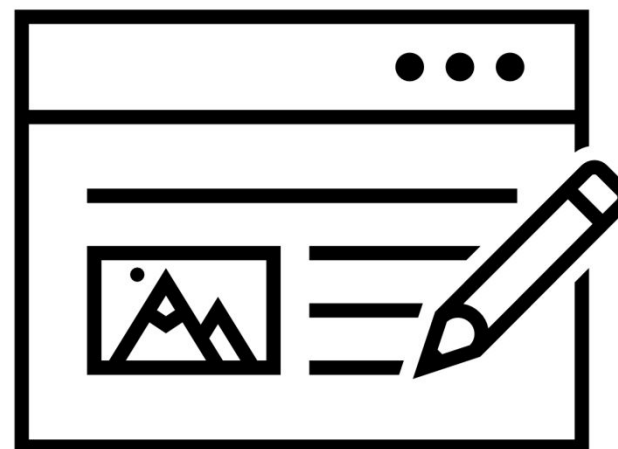
- | | | |
|---|-----------------|------|
| 1 | 水道料金の検討状況について | 資料 1 |
| 2 | 下水道使用料の検討状況について | 資料 2 |

水道料金の検討状況について

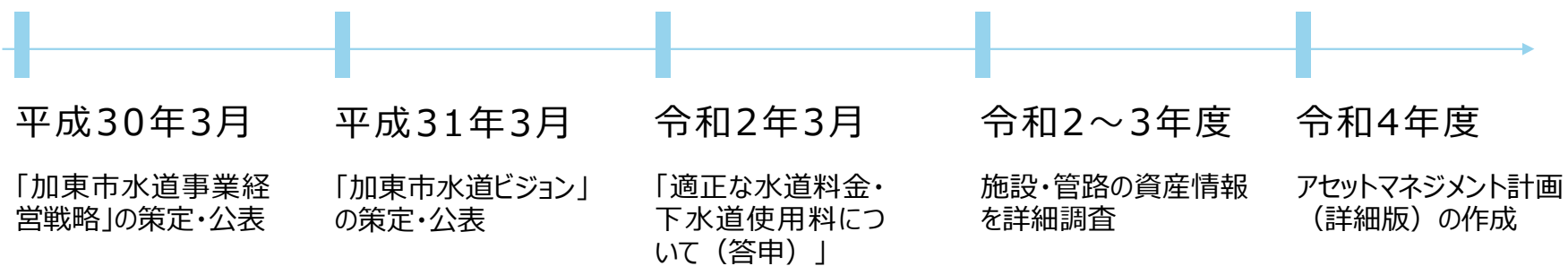
令和5年8月18日
加東市上下水道部

報告テーマ

1. これまでの経過
2. 今後の投資計画
3. 財政シミュレーション
4. 収支均衡に向けて



これまでの経過



これまでの経過

アセットマネジメント計画による

今後の投資計画

前回検討(R1)との投資条件差異①

項目	前回検討 (R1)	今回検討 (R5)
計算期間	R1からの50年間所要額	R5からの50年間所要額
更新対象資産 (管路)	固定資産台帳ベース 390,927.5m	マッピングシステムベース 465,320.1m
更新対象資産 (施設設備類)	固定資産台帳 363件	固定資産台帳 628件
更新サイクル	資産の内容、種類に関わらず 法定耐用年数の一律1.2倍の年数	資産の内容、種類、劣化状況に応じて細かく設定 長寿命化による期待使用年数を検討

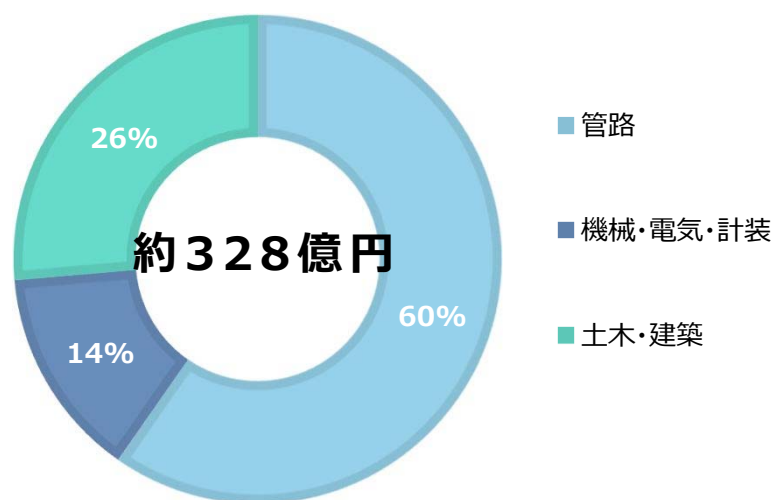
前回検討(R1)との投資条件差異②

項目	前回検討 (R1)	今回検討 (R5)
工事費の計算方法 (管路)	取得価格を物価指数により単純現在価値化 (*1)	舗装復旧等を含む1m当たり単価を詳細計算 + 近年の材料費大幅高騰を加味
工事費の計算方法 (施設)		物価指数(*1)、再構築の手引き + 近年の材料費大幅高騰を加味
更新手法	現状と同数、同内容での更新	耐震化・統廃合・ダウンサイジングを考慮した更新
その他	調査計画・設計監理委託料は見込まない	調査計画・設計監理委託料を含む

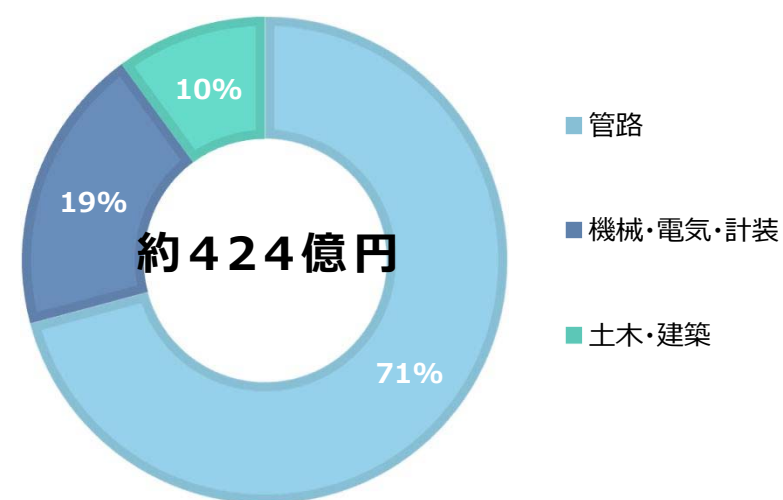
*1：物価上昇や下落などの物価変動部分の影響を除いて実質値の動きをみるために用いられる、官公庁等から公表される指標値（デフレーター）を使用している。

今後50年間の投資所要総額

前回検討（R1）による更新



今回検討（R5）による更新



より詳細に検討し、完成度を高めたため、大幅に変化

財政シミュレーション

財政シミュレーションの条件差異①

収益的収入

項目	前回検討 (R1)	今回検討 (R5)
給水収益	H30供給単価 (214.2円) × 将来有収水量	R4供給単価 (214.6円) × 将来有収水量
手数料	H29予算値で一定	前年度比人口増減率 × 前年度手数料
預金利息	資金残高と連動	R4実績値で一定
他会計負担金	H29予算値で一定	R4実績値で一定
加入分担金	H29予算値で一定	前年度比人口増減率 × 前年加入分担金
長期前受金戻入	確定額のみ計上	左に同じ

財政シミュレーションの条件差異②

収益的支出

項目	前回検討 (R1)	今回検討 (R5)
人件費等	H29決算値×賃金上昇率 (+0.8%)	R4実績値×賃金上昇率 (+0.1%)
その他経費	過去5年実績平均値×物価上昇率 (+0.3%)	過去5年実績平均値×物価上昇率 (+1.16%)
県水受水費	過去5年実績平均値	責任水量分のみ計上 (現状維持)
減価償却費	予定分+更新計画による将来発生分を計上	左に同じ
資産減耗費	R6滝野浄水場関連除却損+予定額で一定	R6滝野浄水場関連除却損+事業により毎年変動
支払利息	企業債償還利率0.6%	企業債償還利率0.7%

据置5年
30年償還

財政シミュレーションの条件差異③

資本的収入

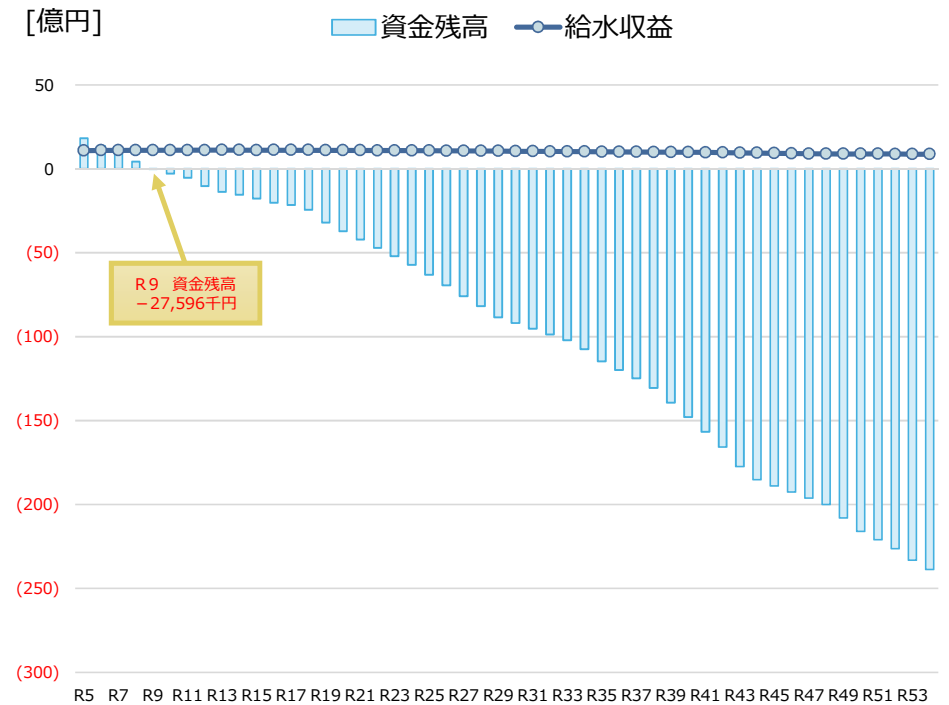
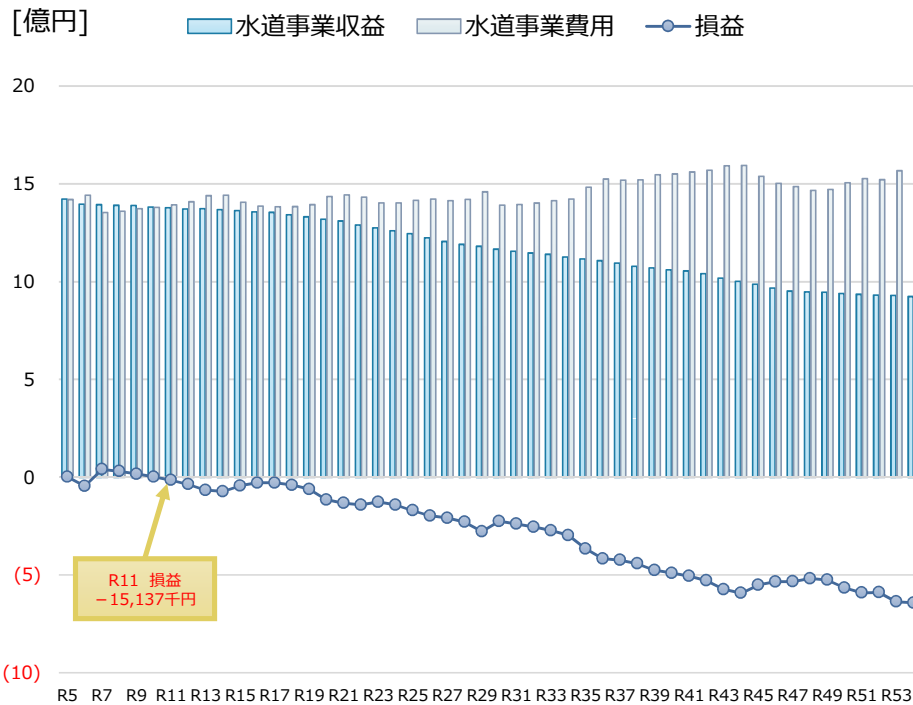
項目	前回検討 (R1)	今回検討 (R5)
企業債	建設改良費の0%~75%の間で、様々なパターンを設定 (増減単位は25%)	検討パターンにより細かく変動

事業量と資金のバランス、
将来世代との負担公平を考慮

資本的支出

項目	前回検討 (R1)	今回検討 (R5)
建設改良費	経営戦略策定時の更新需要を反映	アセットマネジメント計画による更新需要を反映
企業債償還金	据置期間5年、一律30年償還	左に同じ

シミュレーション結果（料金改定なし・企業債発行なし）



損益はR11に、資金残高はそれよりも早いR9にマイナス化

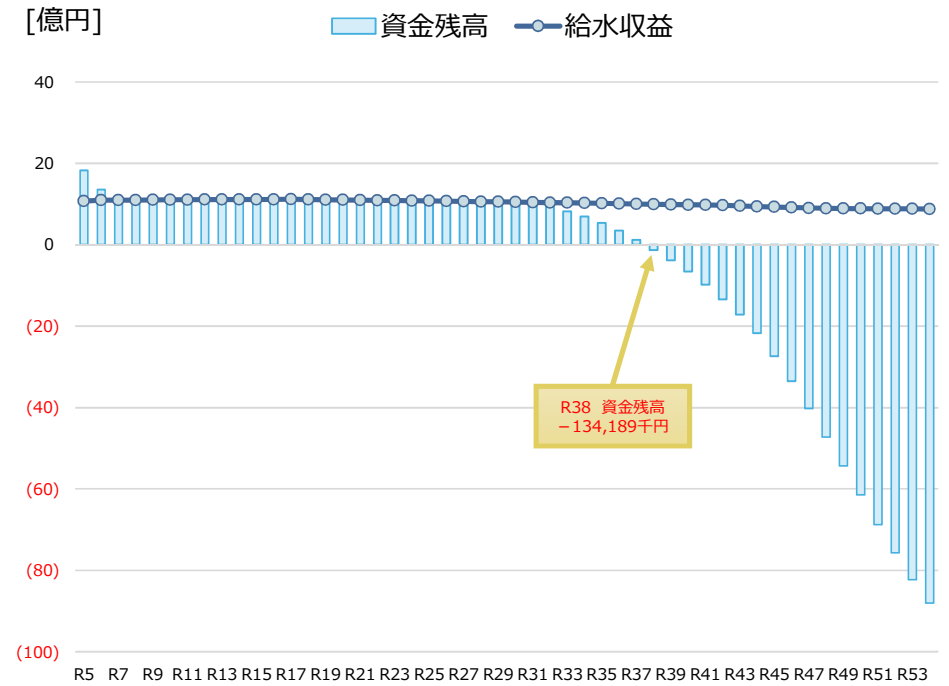
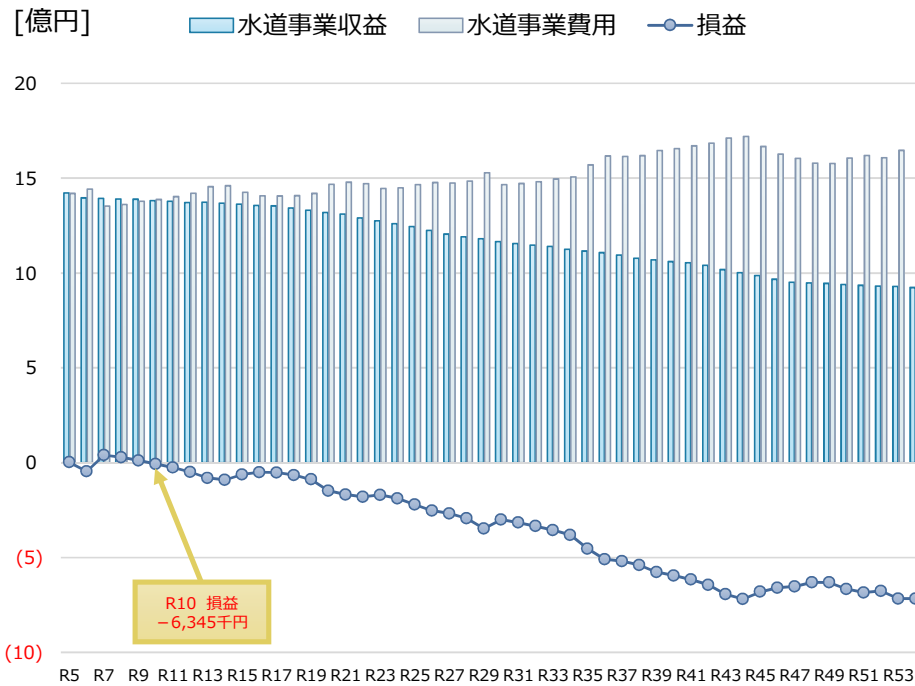
収支均衡に向けて

収支均衡の方法

料金改定	企業債発行
<ul style="list-style-type: none">・収益赤字が発生する年度を初回の改定年度とする・初回改定以降、収益赤字が一度も発生しないよう改定・料金改定は8年サイクルで行う・改定率は1%刻みで設定	<ul style="list-style-type: none">・資金残高が給水収益1年分を下回らないよう借入れする・当該年度の建設改良費に対する借入額の割合を調整 (増減単位5%)

急激な料金改定とならないよう
8年サイクルとした

シミュレーション結果（料金改定なし・企業債発行）

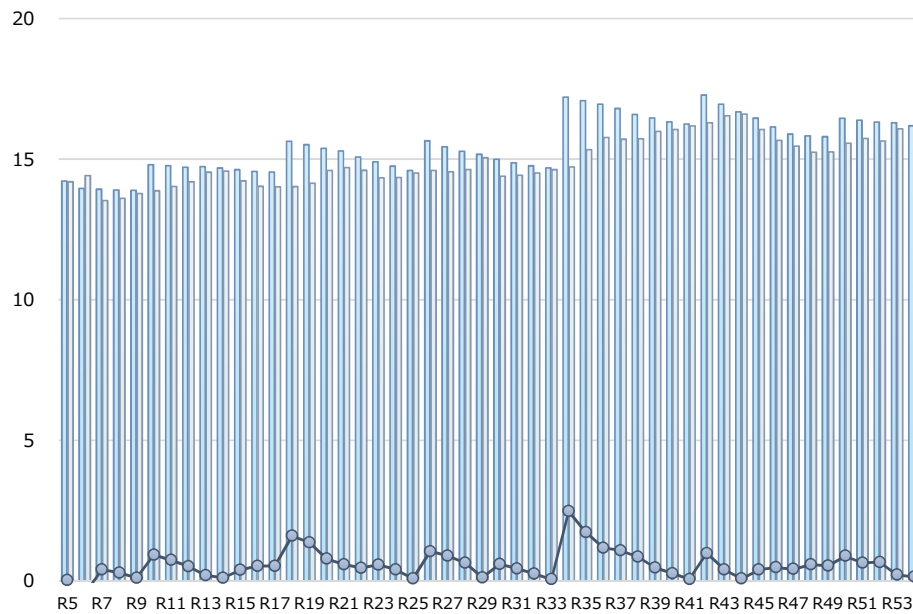


損益R10マイナス化 → **1年早まる**

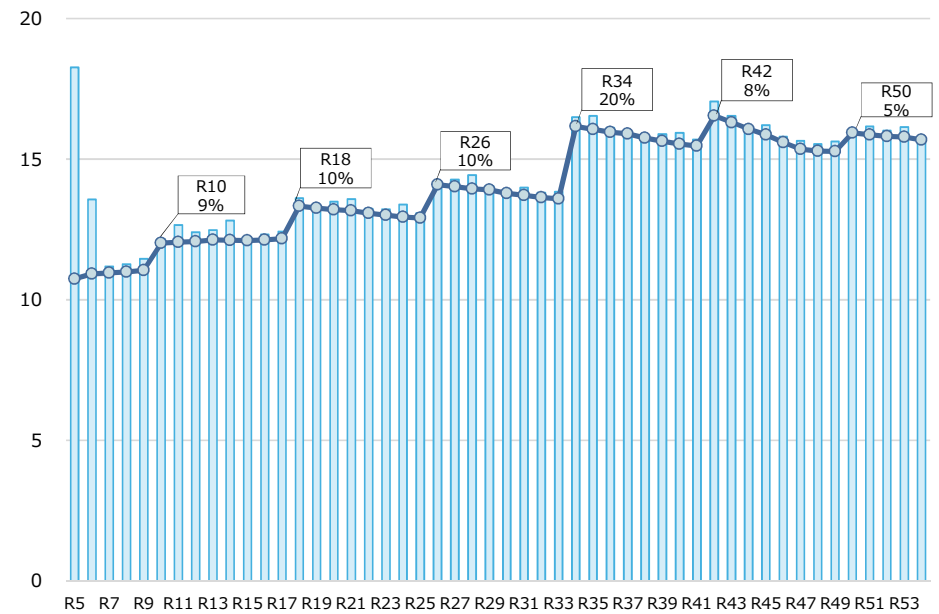
資金残高はR38にマイナス化

シミュレーション結果（収支均衡）

[億円] 水道事業収益 水道事業費用 損益



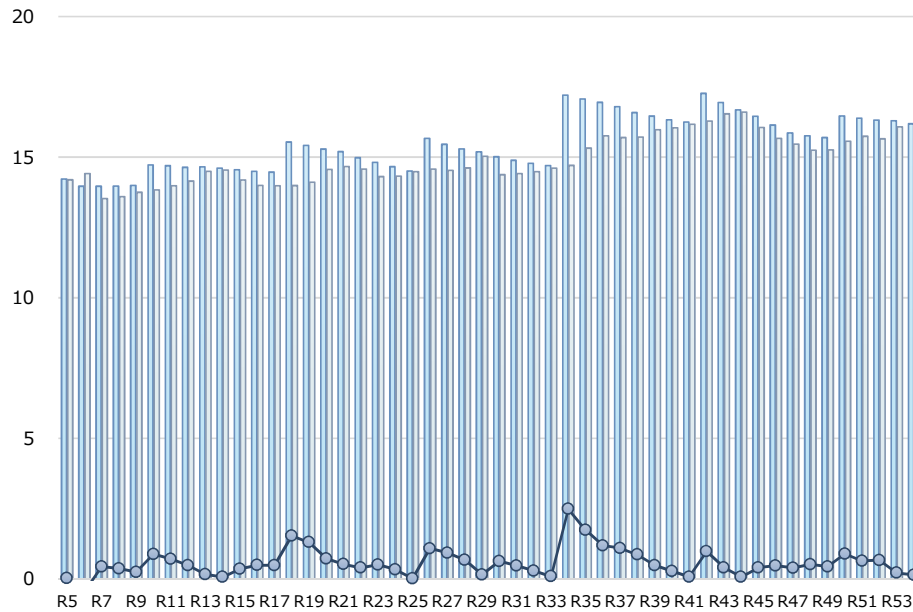
[億円] 資金残高 給水収益



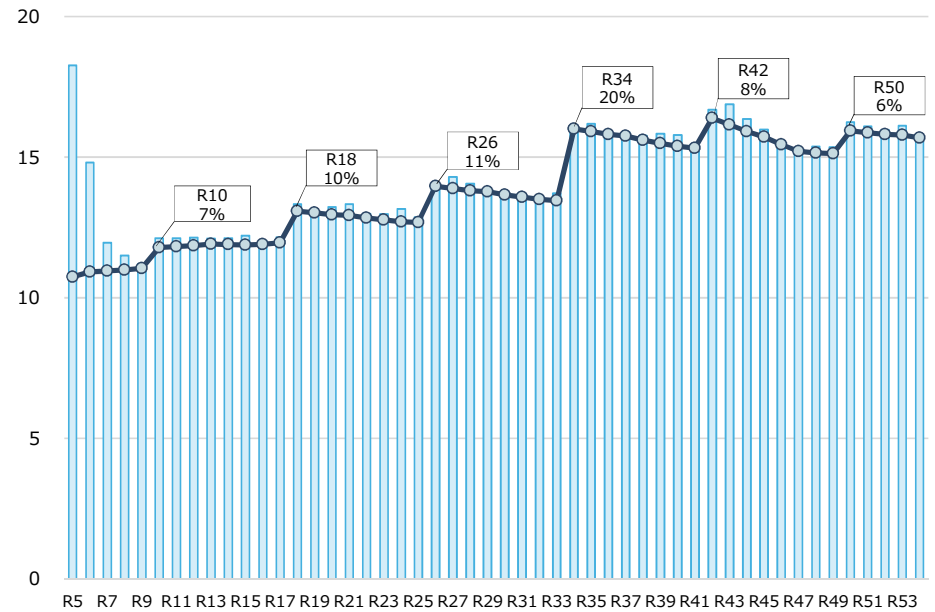
R10に初回改定（9%）以降8年サイクルで改定

参考パターン（収支均衡・補助金R10まで）

[億円] 水道事業収益 水道事業費用 損益



[億円] 資金残高 給水収益



R10の初回改定率を7%まで抑制可能

水道事業の基盤強化に向けて

令和4年度から「加東市水道事業アセットマネジメント計画」の策定に取り組んでおり、このたび、水道事業の現況と課題、今後の見通しについて取りまとめました。

水道事業の経営は、原則として独立採算制であり、その原資の多くが市民の皆様から戴く水道料金によって賄われています。

人口減少に伴う水需要の減少や水道施設の老朽化等により将来の厳しい事業環境が予測される中、今後も安全な水を安定的に供給できるよう、更なる経営努力はもちろんのこと、子や孫の将来世代に着実に水道を受け渡していくためにも市民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。

今後は、アセットマネジメント計画に基づく適切な資産管理を実践しながら、引き続き、広域連携や官民連携の検討など、水道の基盤強化に向けた取組を進めて参ります。



今後の 取り組み予定



加東市水道事業 及び下水道事業運営審議会

アセットマネジメントの進捗に関する報告

今後の水道事業運営のあり方に関する審議



経営戦略の見直し・改定

前回策定からの進捗フォローアップ

将来環境の変化を見据えた投資財政計画の見直し



水道ビジョン見直し・評価

前回策定からの進捗フォローアップ

目標項目の評価、再設定

ありがとうございました

加東市上下水道部

〒673-1493

兵庫県加東市社50番地

TEL : 0795-43-0533



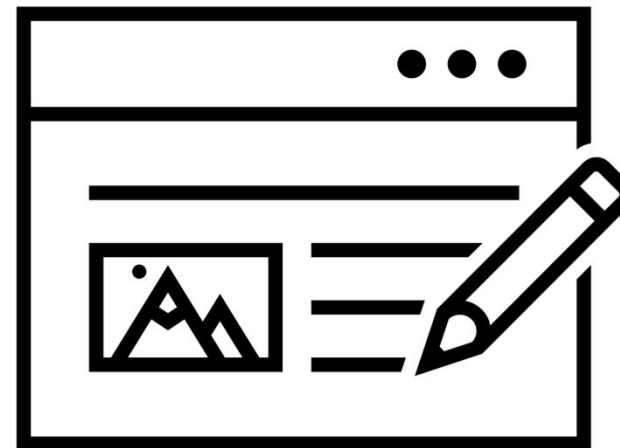
広沢浄水場・新浄水設備棟

下水道使用料の検討状況について

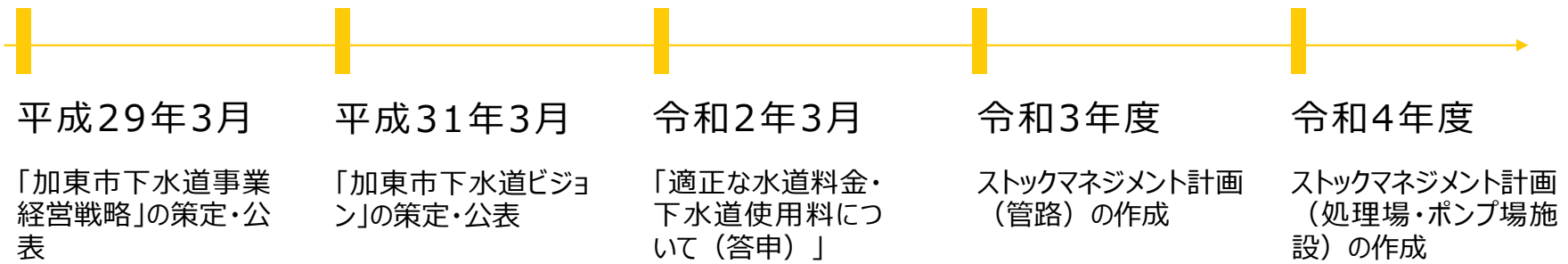
令和5年8月18日
加東市上下水道部

報告テーマ

1. これまでの経過
2. 今後の投資・財政計画

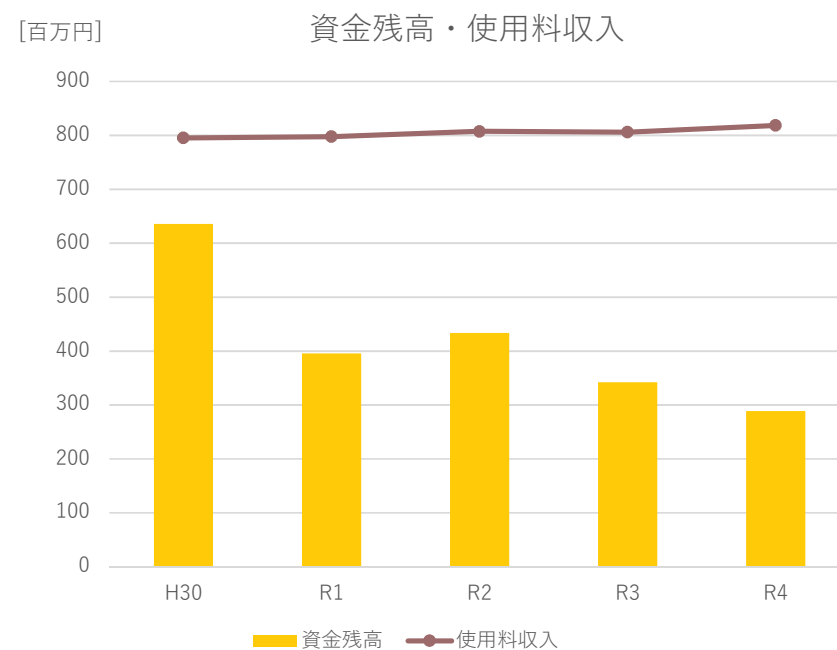
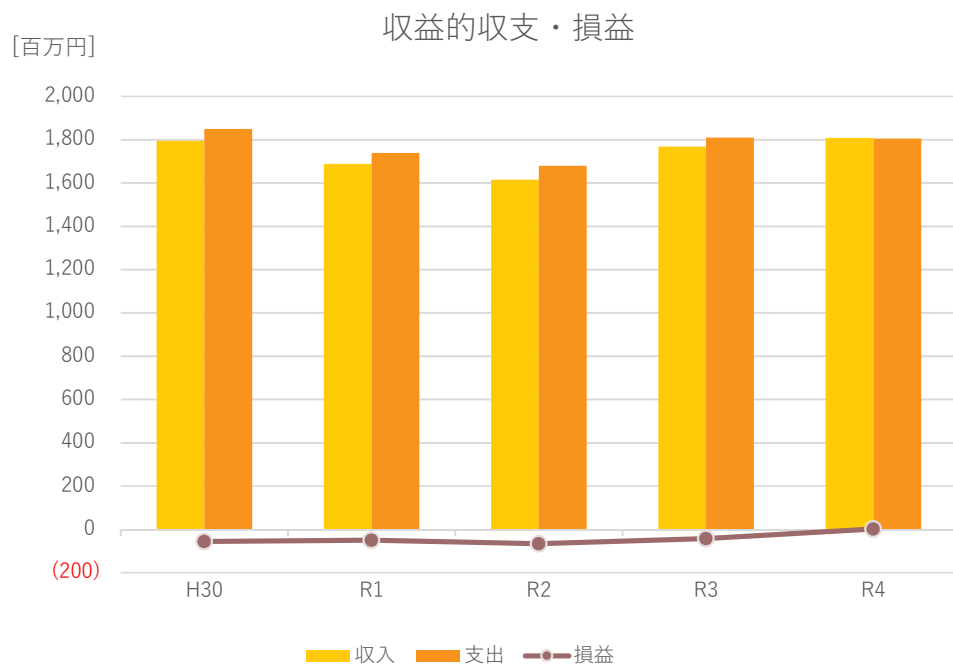


これまでの経過



これまでの経過

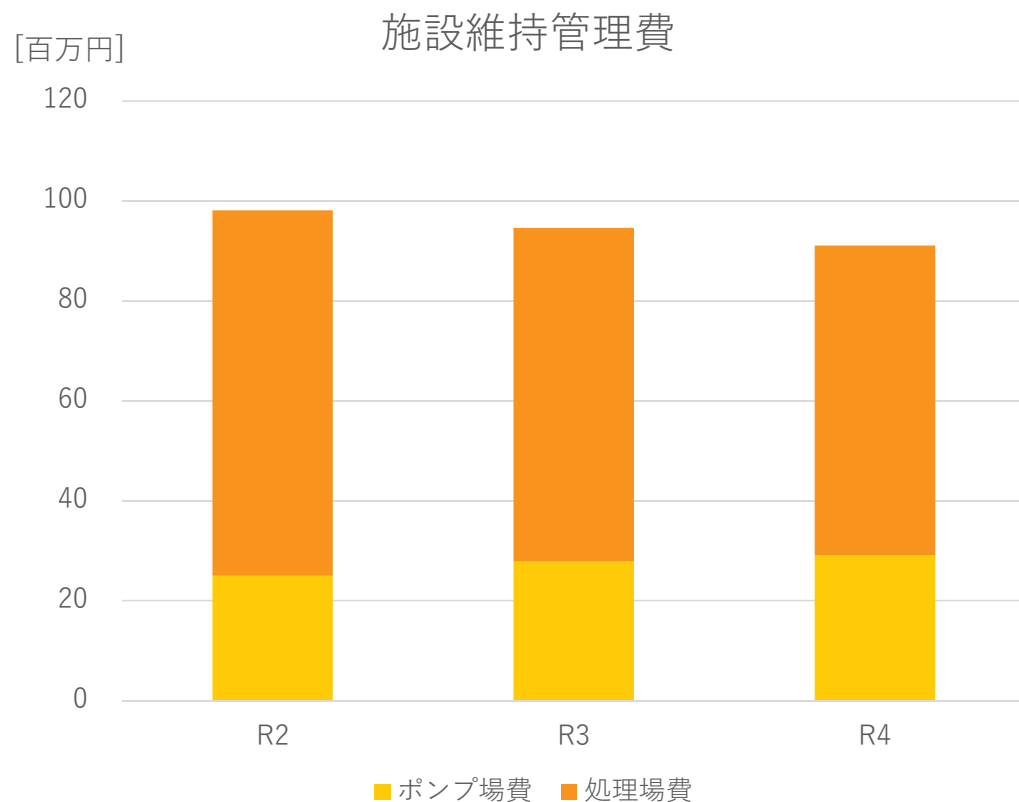
令和元年度以降の経営実績（1）



R2以降、損益は改善傾向

処理場統合整備事業費の増加により、R4の資金は3億円程度

令和元年度以降の経営実績（2）



処理場統合を行ったR2以降は減少傾向

統合により処理場数は減少する代わりに、
処理場のあった位置にポンプ場を設置しているため
ポンプ場の数は増えている。

そのため、ポンプ場の費用は増えているものの、
処理場費の減少幅の方が大きい。

※R4の電気料金値上げがなければ、より大きな減少となっていた。

ストックマネジメント計画による

今後の投資・財政計画

下水道ストックマネジメントとは

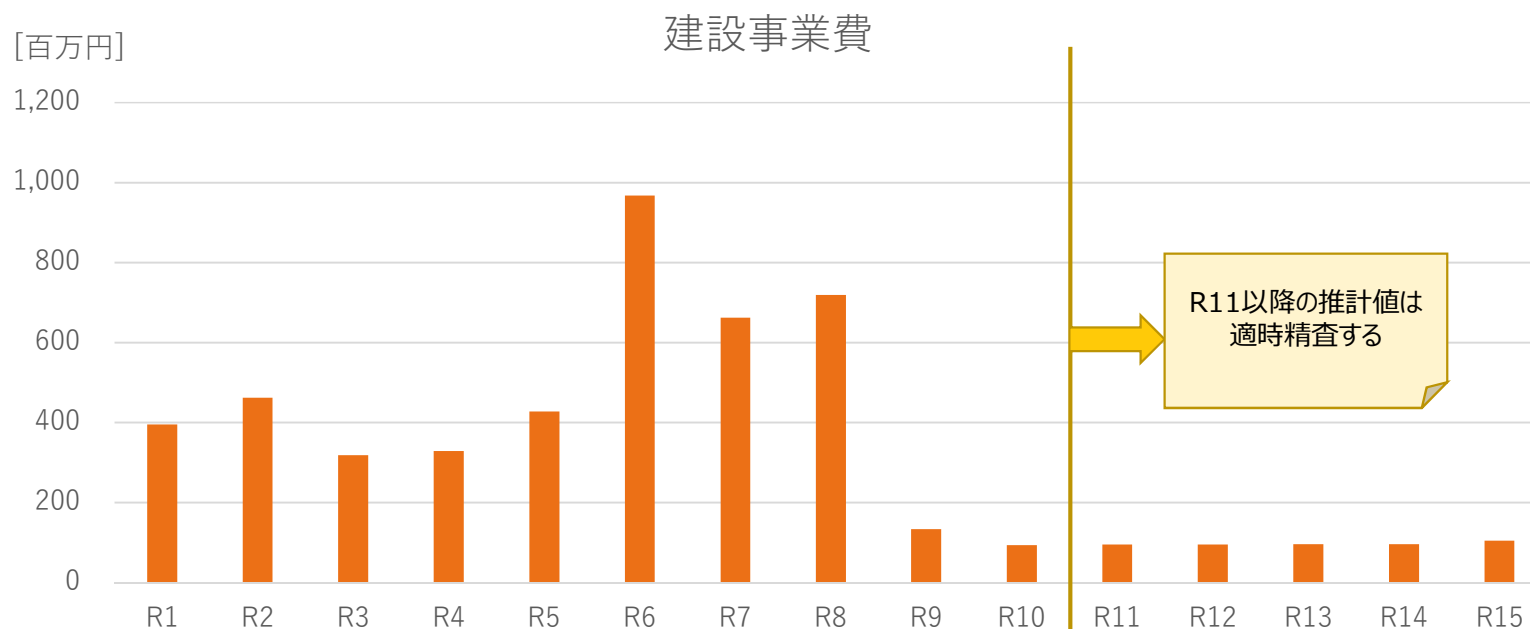
【定義】

施設・設備の状況を客観的に把握し、長期的予測に基づく計画の下で管理・更新を行うこと。

【ストックマネジメントの意義】

下水道施設を財源等の制約のもと適切に管理していくためには、短期的な改築ではなく、中長期的な視点で下水道事業全体の今後の老朽化の進展状況を捉えて、優先順位をつけながら施設の改築を進めることで、事業費の更なる削減を図ることが重要である。

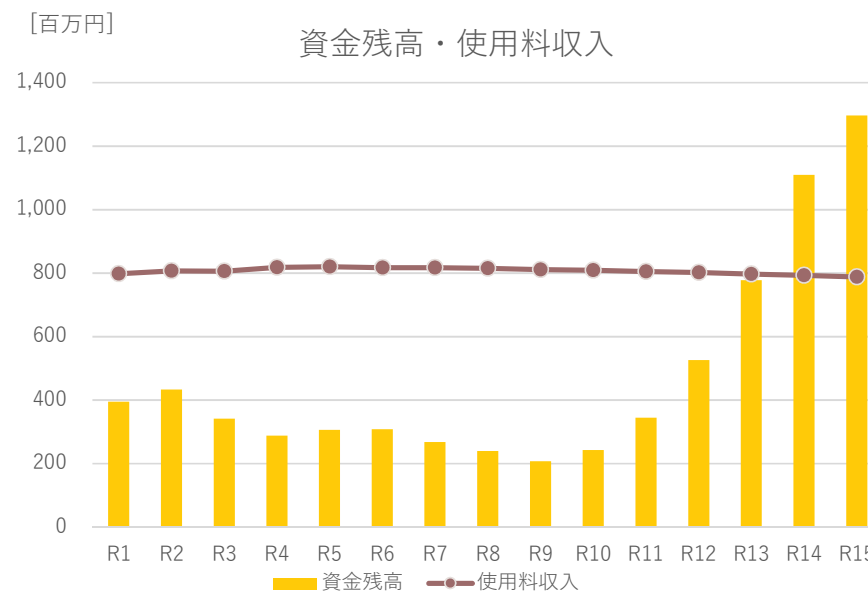
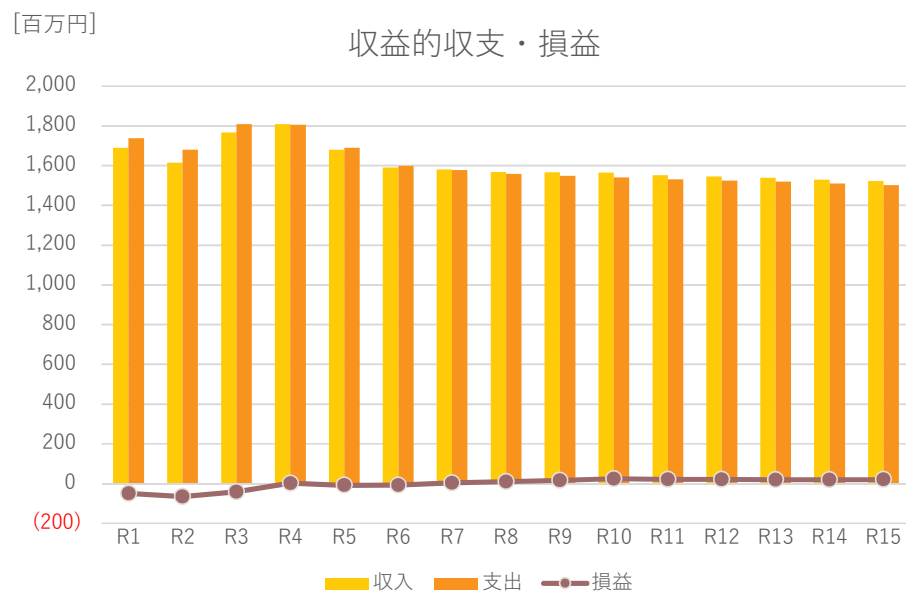
事業費の推移



- 処理場統合整備事業の費用により、R9までの事業費は増大する。
- R10まではストックマネジメント計画に基づいた更新を行う。
計画は5年ごとに見直すこととしており、R11以降の事業費は財源や人員等の制限を加味して見積もっている。

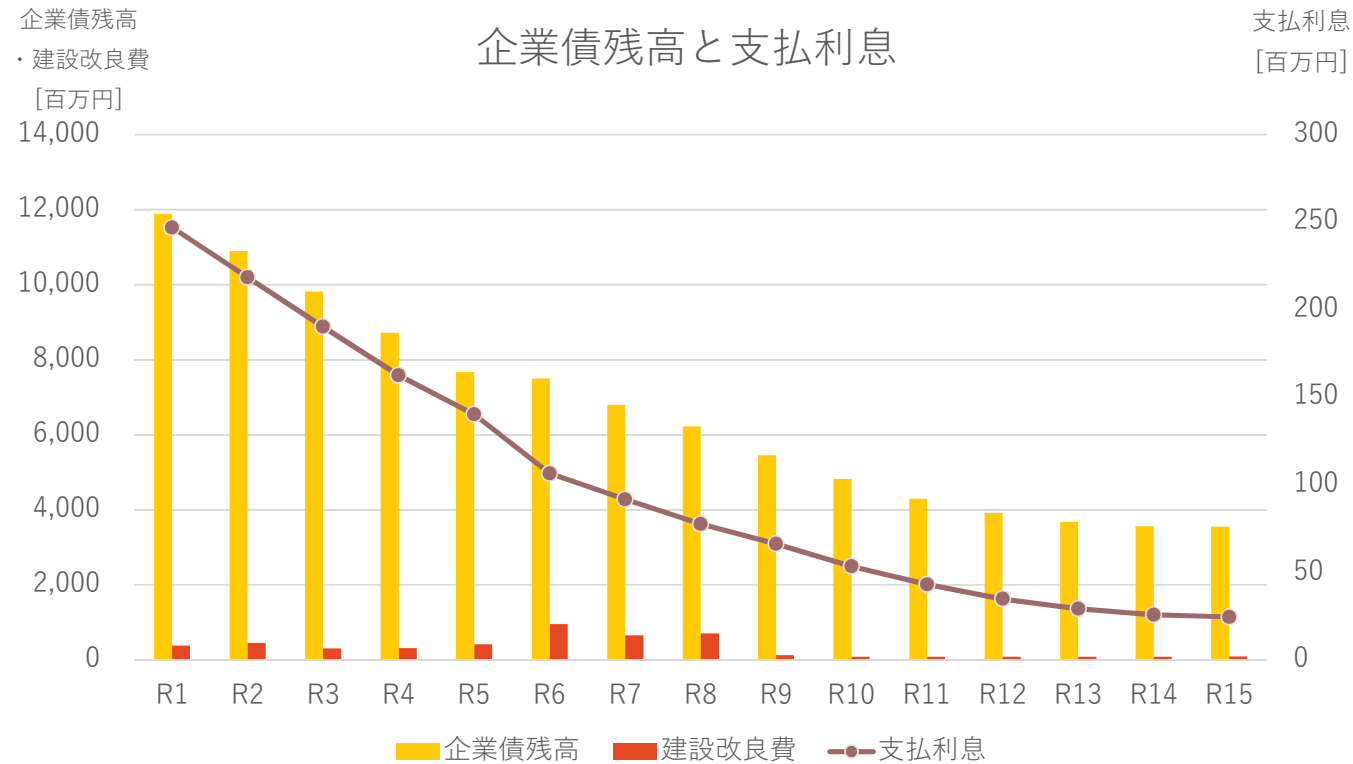
財政収支の見通し（1）

令和7年度以降、収支均衡を維持



- R15までの10年間を見た場合には、維持管理費及び資本費の減少により、収益的支出は減少。
- 建設改良費や企業債償還金など、現金支出の減少に伴い、R10以降の資金残高は増加。

財政収支の見通し（２）



企業債は建設改良費に一定割合を乗じた額を発行するため、建設改良費の減少に伴い企業債残高及び支払利息は減少

令和元年度答申のとおり、喫緊の使用料改定の必要性はないと考える。

経営状況のまとめ

- 処理場統合により、今後も維持管理費・資本費が減少し、令和7年度以降、収支均衡を保つ
- 処理場統合事業が完了する令和10年度以降、資金残高は増加傾向となる
- 建設改良費の減少に伴い、企業債残高及び支払利息は減少する

下水道事業の基盤強化に向けて

策定した「ストックマネジメント計画」に基づき、下水道施設の点検・調査を行い、これらの結果により、計画的に修繕・改築工事を実施し、建設改良費の抑制を図る。

下水道事業の経営は、独立採算制の原則と経費の負担区分を示す「雨水公費・汚水私費の原則」があり、また、今後の経営改善の状況を適切に見極めていく必要があるため、引き続き適正な使用料について適時検討を行う。

人口減少や施設の老朽化等、将来の厳しい事業環境が予想されるが、より安定した事業運営を行い、累積欠損金の解消を目指す。



今後の 取り組み予定



加東市水道事業 及び下水道事業運営審議会

今後の下水道事業運営のあり方に関する審議



経営戦略の見直し・改定

前回策定からの進捗フォローアップ

将来環境の変化を見据えた投資財政計画の見直し



下水道ビジョン見直し・評価

前回策定からの進捗フォローアップ

目標項目の評価、再設定

ありがとうございました

加東市上下水道部

〒673-1493

兵庫県加東市社50番地

TEL : 0795-43-0533

